

7. 千葉経済大学大学院経済学研究科（修士課程）学位審査基準

1. 学位論文評価基準

修士論文の評価に関しては、下記（1）～（3）に挙げた項目を一般的な審査基準としつつ、各専門分野の専門性やそれぞれの論文の特性をも十分考慮した上で、総合的に判断し、可否を決定する。

（1）研究内容、目的、意義

- 1 当該分野の学術論文としての形式を備えていること
- 2 先行研究を踏まえていること
- 3 当該分野の研究の発展に寄与するものであること

（2）結論

- 1 全体が論理的に構成されていること
- 2 研究手法上文献資料調査、フィールドワーク等が必要な場合、その結果を踏まえて結論が導き出されていること

（3）参考論文に対する要件

特になし

2. 審査体制・方法

（1）審査体制

修士論文の審査を行うため、論文審査委員会を置く。同委員会は、主査1人、副査2人をもって構成する。主査は、指導教授とし、副査は、大学院委員会が大学院の教授及び准教授のうちから委嘱する。なお、大学院委員会は、修士論文の審査に当たって必要があるときは、他の大学院又は研究所等の教員等の協力を得ることができる。

（2）審査方法

論文審査委員会は、千葉経済大学学位規程第5条第1項及び第2項の定める要件を満たし修士論文を提出した者に対して、修士論文の審査及び最終試験を行う。最終試験は、提出された修士論文を中心として、これに関連のある科目について原則、口頭によって行う。

論文審査委員会からの報告に基づき、大学院委員会は、修士論文の審査及び最終試験並びに学位授与の可否を決定する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

12. 履修方法

1. 修士課程の修了要件

大学院に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格しなければなりません。

2. 単位の修得

単位の修得の認定は、筆記試験、口述試験、研究報告等により当該授業科目を担当する教員が行います。

3. 成績の評価

各授業科目について、「秀」「優」「良」「可」「不可」の評語で表し、「秀」「優」「良」「可」が合格となります。

「秀」	90点以上
「優」	80点以上 90点未満
「良」	70点以上 80点未満
「可」	60点以上 70点未満
「不可」	60点未満

4. 履修単位数の上限

1年間に履修科目として登録することができる単位数は26単位を上限とします。

5. 履修方法

- ① 研究指導を行う教員（「指導教員」）を定めます。
- ② 「特別演習指導担当教員届」を4月13日（木）までに提出しなければなりません。
- ③ 履修する授業科目については、指定の用紙により、4月13日（木）までに届出なければなりません。届出のない授業科目については、単位は与えられません。
なお、後期授業科目については、9月28日（木）までに届出があれば、変更を認めます。

6. 授業時間

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
9:00～10:30	10:40～12:10	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50